

事業所名		すこやか				支援プログラム（参考様式）				作成日		2025 年		10 月		1 日	
法人（事業所）理念		・こどもたちの未来を創るために、将来の方向性や趣味を見つめるため本物に触れ、多くの体験活動を通じて身近なことに気づき、興味・関心を育み心身の発達に繋げていきます。															
支援方針		1. こどもたちの最善の利益を大切にします。（将来に向けた可能性があるこどもたちを中心に関わる人が力を合わせ支え合い、学びあっていきます。） 2. 一人ひとりにあった感性を育てていきます。（将来の方向性や趣味を見つめるため、創作活動や四季折々の文化活動、食育など取り入れていきます。） 3. こどもたちやその家族に寄り添い子育て支援を行います。（子育ての不安や悩み事の軽減ができるように支援します。） 4. 地域に繋がられる支援に取り組めます。（こどもたちが様々な経験、体験を通じてワクワク、ドキドキを大切に達成感や成功体験を積み重ね自己肯定感を高めていきます。） 5. 切れ目のない支援に取り組んでいきます。（様々な相談に対応できるように関係機関とのネットワークを構築していきます。）															
営業時間		9 時				30 分から		18 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり			
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握・維持・促進 ・生活リズムの生活習慣の形成 ・基本的生活スキルの獲得の為の支援															
	運動・感覚	・姿勢と運動・動作の基本的技能の向上、促進 ・手指の高地性の向上や促進のための支援 ・身体移動能力の向上と促進 ・保有する感覚の総合的な活用や領域の拡大のための支援 ・感覚や認知の活用、習得領域の拡大のための支援															
	認知・行動	・知覚から行動への認知糧の発達促進のための支援 ・身の回りの自立に向けた支援、数量、大小、色等の習得のための支援 ・空間、時間、数等の概念の形成及び習得のための支援 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成のための支援 ・認知のこだわりへの対応・行動障害への予防及び対応 ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得のための支援															
	言語 コミュニケーション	・言語の形成と活用、受容言語と表出言語の支援 ・多様なコミュニケーション手段の習得拡大及び活用の為の支援 ・読み書き能力の向上のための支援 ・コミュニケーションの基礎的能力の向上の為の支援 ・指さし、身振り、サイン等の活用、意思表示等の促進のための支援 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得のための支援															
	人間関係 社会性	・アタッチメント（愛着障害）の形成、安定・他者との関わり形成・促進 ・感覚、運動遊びから象徴遊びへの支援 ・仲間づくりや集団参加への支援 ・事故の理解やコントロールの為の支援 ・地域社会への参加や余暇活動の支援 ・一人遊びから共同遊びへの支援 ・模倣行動の支援															
家族支援		・こどもと家族の安定した関係に配慮し、きょうだいを含めた家族をトータルに支援 ・家族からの相談に対する適切な助言や愛着形成に向けた支援（個別相談、療育参加など） ・保護者参加のイベントを隣接している、大阪健康ほいく専門学校や大阪調理製菓専門学校と連携を取り活動を行っていき成長や支援方法、本時の強みなど共有できる場を設けます。 ・育児の負担を軽減し保護者のストレスを軽減するための支援を行います。 ・様々な情報や支援制度に関する情報を提供します。 ・家族同士が交流し、子育ての悩みを共有できる場を提供します。								移行支援		・児童が地域社会で生活する中で、より良い環境で成長できるように教育機関や保育所などとの連携を図り必要な支援を提供する。 ・発達段階や個別のニーズに合わせた支援（ライフステージの切り替えを見据えた支援） ・地域との連携（地域資源を最大限に活用し地域社会で生活できるようサポートします） ・障がいの有無に関わらずすべての児童が共に成長できるよう地域社会への参加、包容を促進します。					
地域支援・地域連携		・障害のある子どもたちが地域社会でより良く生活し、参加できるよう、関係機関との連携を強化し、地域の支援体制を構築することを目的とします ・地域にある保育所、学校、医療機関、福祉施設などを活用し、連携を図ることで、子どもたちの発達を支援する環境を整備します ・障害のある子どもとその家族が利用する可能性のある関係機関（保育所、学校、医療機関、福祉施設など）と連携し、情報共有や意見交換を行います。 ・地域で子どもたちを支援する体制を構築するために関係機関間の協力体制を整備します ・地域の子どもたちのニーズに応じた支援を検討し地域に根差した支援体制を構築します								職員の質の向上		職員研修： 支援技術の向上、専門知識の習得、心理的サポート能力の向上などを目指した研修を実施します。研修は、外部講師を招いたり、社内研修を行うなど、様々な方法で行います。 情報共有： 職員間で支援の事例やノウハウを共有し、相互に学び、連携を深めることで、支援の質の向上を促します。 チームビルディング： 職員間のコミュニケーションを活性化し、チームワークを高めることで、支援の質の向上を図ります。					
主な行事等		・季節に合わせたイベントプログラムの実施 (隣接している、大阪健康ほいく専門学校や大阪調理製菓専門学校と連携を取り、季節に合ったお菓子作りや体験会、運動会、夏祭り、ハロウィンなど) ・近隣施設・公園への課外活動。 ・お買い物体験。防災訓練。制作や様々な体験、レクリエーション活動															